

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2014

11

Vol. 3 No.11



口絵

野付半島トドワラ付近で認められる地盤沈下に伴う急激な海進現象	七山 太・石渡一人	325~326
地質標本館 第5回地質写真コンテスト受賞作品の紹介(3)	地質標本館	327~328

5万分の1地質図幅「早池峰山」の刊行	内野隆之・川村寿郎	329~333
E. ナウマン著「日本における地磁気偏角の永年変化に関する覚書」全訳	山田直利・矢島道子	334~345
戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 「次世代海洋資源調査技術」に対する産総研の成因研究への取り組み	山崎 徹・池原 研	346~349
地質標本館 第5回地質写真コンテスト結果について(3)	宮内 渉・青木正博	350
新刊紹介 一万年前一気候大変動による食糧革命,そして文明誕生へ—	七山 太	351~352

● ニュースレター

新人紹介 宮津 進(地圏資源環境研究部門), 原 英里(地圏資源環境研究部門), 小野昌彦(地圏資源環境研究部門), 朝比奈大輔(活断層・火山研究部門), 佐藤善輝(地質情報研究部門), 小森省吾(活断層・火山研究部門), 西田尚央(地質情報研究部門), 勝部亜矢(活断層・火山研究部門)	353~356
--	---------

表紙説明

宮崎層群^{うど}鵜戸層の厚層砂岩層と隆起海食洞につくられた鵜戸神宮の社殿

宮崎層群は後期中新世~前期更新世の前弧海盆堆積物であり, 宮崎市から日南市に向かう国道220号線沿いには鵜戸層の好露出が観察できる。日南市の鵜戸神宮の祠は, 鵜戸層の厚層砂岩層に生じた海食洞内にある。標高8.5mに位置する洞の存在は明確な海岸隆起を示している。社の創祀年代は不詳であるが, 6世紀の日本初の女帝であった推古天皇の御代に洞内に社殿を創建したとも伝えられている。亀石は本殿前にある霊石で, しめ縄の張られた甲羅の部分には枳形のくぼみがあり, この部分に運玉と呼ばれる素焼きの玉を投げ入れると幸運が訪れると言われている。(写真・文:七山 太¹⁾ 1) 産総研 地質情報研究部門)

Cover Page

Udo Jingu shrine in the uplifted sea cave situated in the thick bedded sandstone of Udo Formation, Miyazaki Group. (Photograph and caption by Futoshi Nanayama)